

事業名称	冊子「船場川を美しくする会 活動の軌跡」刊行
団体名・代表者	船場川を美しくする会 会長 大野 光生
協働の相手方	飾磨支所、河川管理課

目的	船場川が抱える問題を周知することで環境保全の重要性を訴え、試行錯誤を経て現在に至る清掃方法を共有することで市内清掃活動の効率化を図る。 また、これまでの本会の活動内容を周知することで市全域のボランティア精神の育成を図り、これから活動を始めるスタートアップ団体への情報提供となることを目的としました。
内容	団体を設立する至った経緯、団体の活動内容、それに付随する官民協働の内容などを 1 冊の報告書としてまとめ、部数 300 冊を作成しました。完成した冊子は各種団体に配布し、各々の団体の活動に役立ててもらおうこととしています。
事業経過	令和 7 年 4 月に関係する連合自治会で「船場川を美しくする会 活動の軌跡」制作委員会を設立し、その後、市協働先や河川管理者と協議を重ね、令和 8 年 3 月に冊子を完成させました。
事業の効果	・官民協働の重要性の再認識 ・住民コミュニケーションの活性化 ・地域間交流の促進 ・地域資源の価値向上
今後の展望	冊子としては、団体設立経緯や活動内容をまとめた報告書の体裁をとっていますが、同様の活動を考えておられる方に向けた活動マニュアルとしても機能するものを目指して作成しました。本冊子がきっかけとなり、清掃活動がより広域に拡大することを期待しています。

【実施団体の事業総括・感想等】

団体を設立するに至った経緯や当時の地域の熱意、これまでの活動内容を、後世の住民にも目にしてもらえらる形として遺せたことはよかったと思います。時間的な制約がある中でも、当初、冊子に盛り込みたいと考えていた内容は概ね網羅できたと考えています。

本格的な人口減少時代に突入し、今のところは市役所で出来ている業務も、今後は色々な制約を受けることが予想されます。そのような時代であるからこそ、官民が手を携えて課題解決にあたるのが大切になってくると思います。

本冊子が、清掃活動に限らず、これから官民協働で何かを始めたいと考えておられる方の一助になれば幸いです。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

・「船場川を美しくする会」は、現在も年 2 回の清掃活動を実施しており、団体設立当時の熱意は活動という形で今に引き継がれています。今後、時間が経過していき、組織内で世代交代が進むと、設立当時の記憶が希薄化していくことが懸念されますが、今回「冊子」という形で後世に引き継ぐことができたのは良かったと思います。また、内容も実践的なマニュアルとして他団体にとっても有意義なものとなっていると考えており、ぜひ活用していただきたいと思います。

・地域と行政が一体となり、河川環境の保全及び河川が持つ治水・利水・親水等の多面的機能を維持していく必要がある中で、当事業が官民協働の取り組みのさらなる推進に寄与することを期待したい。